



令和 5 年度
奄美〈環境文化〉教育・実装プログラム
募集要項

国立大学法人 鹿児島大学

高等教育研究開発センター 生涯学習部門

目次

奄美〈環境文化〉教育・実装プログラム 募集要項

I. 教育プログラムの目的	2
II. 実装プログラムの主旨	2
III. カリキュラムの特徴	3
IV. 募集について	
1. 募集人員	4
2. 受講のための資格	4
3. 受講料	4
4. 受講方法	4
V. 受講について	4
<hr/>	
VI. 申請・選考方法について	
1. 申請期間	5
2. 申請方法	5
3. 申請内容	5
4. 選考方法	5
5. 受講決定	5
<hr/>	
VII. 教育プログラムについて	
1. 開講式・ガイダンス	6
2. 開講期間	6
3. 総受講時間数	6
4. 教育プログラムの構成とレポート課題について	6
VIII. その他	
1. 修了要件について	6
2. 修了証書について	6
3. 個人情報の取り扱いについて	6
4. 問い合わせ先	6
IX. 資料	
1. WEB版「受講申請書」設問項目	7
2. 科目一覧表	8
3. 授業スケジュール	9
4. シラバス(講義概要)	10-23

『奄美〈環境文化〉教育・実装プログラム』募集要項

I. 教育プログラムの目的

奄美群島は、奄美大島と徳之島が世界自然遺産に登録され、かつてないほどの注目を集めています。島外から人・物・お金の流入が活発化し、群島の市場価値も高まっています。このチャンスをも島の自立的発展に生かすためには、押し寄せる変化の波を的確に受け止め、島民自身が奄美群島の価値や魅力を見つめ直し、「何を守り」「何を変えていくのか」を選択し、行動していくことが大切です。

奄美群島の価値と魅力は世界自然遺産に登録された 2 つの島からのみ理解されるものではありません。奄美群島には、「高い島(山の島)」と「低い島(台地の山)」と表現されるように、島やシマ(集落)ごとに個性ある自然・地理特性があります。また、国境の「境界領域」として琉球国、薩摩藩、米軍統治など複雑な行政統治を経験してきた奄美群島特有の歴史があります。奄美〈環境文化〉は、島の多様な自然と固有の歴史環境のなかで、先人たちが育んできた文化(思想、知恵、技、生産・生活様式など)の総体を表す言葉です。

本教育プログラムは、奄美群島に在住、または移住予定の社会人を対象に、自分たちの住む島・シマ(集落)の地域特性を奄美の〈環境文化〉という考えから捉え直し、島・シマごとの個性を深く理解し、その価値を高め、新たな仕事づくりや生活・地域の課題を創造的に解決するための支援を目的としています。入門コースの「基幹プログラム」は、奄美群島の自然・歴史・文化を体系的に学ぶことで、奄美の〈環境文化〉という視点から奄美群島の魅力や価値を深く理解します。応用コースの「実装プログラム」は、基幹プログラムを通して見出した島・シマ(集落)の課題の解決や、発見した奄美の〈環境文化〉の価値を高め、社会に実装していくために必要なデザイン思考と実践的なスキルを身につけます。

なお、本事業は、鹿児島県大島支庁、奄美群島広域事務組合、奄美群島振興開発基金、鹿児島労働局(ハローワーク)等の協力により実施します。

II. 実装プログラムの主旨

実装プログラムは、基幹プログラムを通して深めた奄美の〈環境文化〉理解とそこで発見した価値を実際生活や仕事と結びつけて、行動できる実践力を養うためのコースです。このプログラムでは、すでに何らかの行動を起こしている、もしくは、起こしたいがやり方に自信がない、事業化を目指しているが具体的な計画がまとまらないなどの悩みを抱える方が、行動を起こすために必要なマインド、知識、スキルを実践的に身につけることを目的にしています。切磋琢磨しながら一緒に挑戦する仲間や講師との交流もプログラムの魅力となります。

Ⅲ. カリキュラムの特徴

実装プログラムのカリキュラム（教育課程）は、奄美の〈環境文化〉の価値を实际生活や仕事と結びつけるための実践力を身につけるために 4 つの科目群から成り立っています。特徴は、デザイン思考の手法を用いて「自分には周囲の世界を変える力がある」という自信を高めることのできる探究的な経験を重ねるところにあります。カリキュラムでは、①現実の地域課題にチームとして取り組むグループ演習、②その経験を生かして、自ら設定する課題に取り組む実践演習を段階的に経験します。各演習では、人間のニーズを深く理解する方法からアイデアを実施・検証するまでの複数の作業（過程）を仲間との意見交換も繰り返しながら実施します。

また、独り立ちをする際に必要な情報を自ら入手し、行政や民間機関等との良好な関係づくりに有用な実践的な知識も習得します。

(時間)

令和5年度 奄美<環境文化>実装プログラム					
科目群	動画 視聴	課題 提出	ライブ 配信	島 集合	合計
①実装の基礎理論	3	0	0	3	6
②地域課題解決演習 (グループ演習)	2	21	7	5	35
③実践演習 (個人演習)	0	6	8	4	18
④産学官金の実践知*	3	0	0	0	3
合計	8	27	15	12	62

*④は 5 科目 (7.5 時間) から 2 科目 (3 時間) を選択

IV. 募集について

1. 募集人員 20 名 ※定員を超える応募があった場合は書類選考を行います。
2. 受講のための資格 以下の①～③のすべての条件を満たす者
 - ① 奄美<環境文化>教育プログラム修了生(2021年度、または、2022年度)
 - ② 原則、開講するすべての科目(全62時間)を受講できること
 - ③ 修了後に具体的な行動を起こす人
3. 受講料 無料 (島集合授業に参加する旅費等の実費負担あり)
4. 受講方法 受講方法は、以下の4つの形態があります。
 - ① 動画視聴型授業
予め動画に記録された講義動画を受講生が好きな時間に視聴する講義形態
 - ② 課題提出型授業
事前に提示する課題に各自で取り組み、レポートを提出する方法の講義形態
 - ③ ライブ授業
講師と受講生、受講生同士がオンライン上で、意見交換しながら受講する講義形態
(WEB 会議システム Zoom アプリを使います)
 - ④ 島集合授業
各島(与論島・沖永良部島・徳之島・奄美大島・喜界島会)の指定された会場に当該島に在住する受講生が参集し、講師と他の島をオンラインでつなぎ、受講する講義形態
(WEB 会議システム Zoom アプリを使います)

V. 受講について

- e-learning 学習管理システム『eden』(<https://eden.ac/>) を利用。※各種連絡も含む
1. インターネット環境が整っている(データ通信料は無制限が望ましい)。
 2. 講義の時間帯にインターネットに接続し、使用できるパソコンやタブレット端末がある(スマートフォンの使用は推奨しない)。
 3. パソコンの基本操作ができる。(文字入力・ファイルのダウンロード、アップロード・インターネットの検索・メールの送受信など)
 4. オンラインで行う「ガイダンス」に参加できる(WEB 会議システム Zoom を使用)。
 5. 受講に当たってのルールを順守できる。

VI. 申請・選考方法について

1. 申請期間

令和 5 年 9 月 11 日(月)10時から、令和 5 年 9 月 22 日(金)16時まで

2. 申請方法

申請は、インターネットでのみ受け付けます。

申請期間になりましたら、以下の URL (鹿児島大学高等教育研究開発センター生涯学習部門 HP) からオンラインで申請してください。

<https://www.life.kagoshima-u.ac.jp/2023>



3. 申請内容

WEB 版「受講申請書」に必要事項を記入してください。※5 ページに設問項目見本があります。

4. 選考方法

定員を超える応募があった場合は、書類選考を行います。選考基準は、提出頂いた申請書類や地域のバランス等を総合的に判断します。

5. 受講決定

令和 5 年 9 月 27 日(水)以降に申請者本人に通知(メール配信)します。

VII. 教育プログラムについて

1. 開講式・ガイダンス 令和5年10月15日(日) 13時30分～

各島をオンラインでつないで開催します。

※終了後、15時00分から第1回の講義(島集合授業)があります。

2. 開講期間 令和5年10月15日(日)～令和6年3月9日(土)

3. 総受講数 62時間

4. 教育プログラムの構成とレポート課題について

本教育プログラムは、下記の4つの科目群より構成されています。各科目群の理解を助けることを目的に、その後の質疑応答と意見交換を前提としたレポート課題を課します。

- ① 実装の基礎理論
- ② 地域課題解決演習(グループ演習)
- ③ 実践演習(個人演習)
- ④ 産官民金の実践知(選択必修)

VIII. その他

1. 修了要件

次に示す二つの要件を満たすこと

要件1：科目群①「実装の基礎理論」と④「産学民金の実践知(選択必修)」のレポートを提出すること

要件2：科目群②「地域課題解決演習」と③「実践演習」の成果物を提出すること

2. 修了証書について

修了要件を満たす者に対しては、修了証書を発行します。

3. 個人情報の取り扱いについて

申請に際し、記入いただいた個人情報は、受講申請の確認、連絡、名簿作成、受講期間中の修学支援、研修時の保険加入、受講者の統計以外の目的に使用いたしません。

4. 問い合わせ先

〒890-0065 鹿児島市郡元 1-21-30

国立大学法人鹿児島大学 高等教育研究開発センター 生涯学習部門 リカレント教育担当係

Tel: 099-285-7122 Fax: 099-285-8495

Mail: manabi@life.kagoshima-u.ac.jp

ホームページ <https://www.life.kagoshima-u.ac.jp/amami/2023>



IX. 資料

1. WEB 版 受講申請書【設問項目】

※申請は WEB サイト内の申込みフォームから行っていただきます。

1) 申込者情報	<ul style="list-style-type: none">・氏名（フリガナ）・年齢 ※未成年者の場合は保護者の同意が必要です。・性別・郵便番号、住所・電話番号1、電話番号2、メールアドレス・最終学歴・奄美群島の在住歴(合計年数)・奄美群島の在住場所(市町村をすべてお書きください)
2) 受講について	<p>①受講希望理由 (選考の対象となりますので、なるべく詳しく書いてください。)</p> <p>②あなたが解決したいと考える島・シマ(集落)の課題について(400文字以内)</p> <p>③②に対して取り組んでみたいプロジェクトもしくは課題解決のアイデアについて(自由形式)</p>
3) 受講環境	<ul style="list-style-type: none">・パソコンの有無・通信環境 光回線ケーブル/テレビ回線/ADSL/モバイル Wi-Fi/その他・パソコンスキル <p>パソコンの基本操作ができる(文字入力・ファイルのダウンロード、アップロード・インターネット検索・メール送受信など)/microsoft の word や excel、もしくは、他の同等のアプリケーションが利用できる。/ホームページの作成ができる。(「基本的な html タグの知識がある」を「ある程度できる」の基準とする)</p>

2. 科目一覧表

科目群	科目番号	科目名	時間(h)	講義形態	開催日	時間	講師	講師の所属
実装の基礎理論	200	オリエンテーション	1	島集合授業	2023/10/15(日)	15:00-18:00	小栗有子 村上電雄	鹿児島大学法文学部 一般社団法人地域デザイン経営支援協会
	201	デザイン思考入門	2					
	202	奄美の環境文化と内発的発展の可能性	1	動画視聴	10/15-10/25		小栗有子	鹿児島大学法文学部
	203	南西諸島域イノベーション実践論	1	動画視聴	10/15-10/25		藤枝 繁	鹿児島大学 南九州・南西諸島域 イノベーションセンター長
	204	地域づくりと探究の理論	1	動画視聴	10/15-10/25		村上電雄	一般社団法人地域デザイン経営支援協会
地域課題解決演習(グループ演習)	205	地域課題オリエンテーション	1	動画視聴	10/15-10/25		小栗有子 村上電雄	鹿児島大学法文学部 一般社団法人地域デザイン経営支援協会
	206	グループワーク①	1.5	ライブ授業	2023/10/26(木)	19:00-20:30		
	207	デザインリサーチ課題①(観察・文献調査)	6	課題提出型授業	10/26-11/8		村上電雄	一般社団法人地域デザイン経営支援協会
	208	グループワーク②	2	ライブ授業	2023/11/9(木)	19:00-21:00	村上電雄	一般社団法人地域デザイン経営支援協会
	209	デザインリサーチ課題②(共感体験)	6	課題提出型授業	11/9-11/25		村上電雄	一般社団法人地域デザイン経営支援協会
	210	インサイトから問いを立てる	3	島集合授業	2023/11/26(日)	15:00-18:00	村上電雄	一般社団法人地域デザイン経営支援協会
	211	アイデアの創出	5	課題提出型授業	11/26-12/6		村上電雄	一般社団法人地域デザイン経営支援協会
	212	3つのレンズ	1	動画視聴	11/26-12/6		村上電雄	一般社団法人地域デザイン経営支援協会
	213	グループワーク③(プロトタイピング計画)	1.5	ライブ授業	2023/12/7(木)	19:00-20:30		
	214	プロトタイピング実践課題	6	課題提出型授業	12/7-1/10		村上電雄	一般社団法人地域デザイン経営支援協会
	215	ストーリーテリング	2	ライブ授業	2024/1/11(木)	19:00-21:00	小栗有子 村上電雄	鹿児島大学法文学部 一般社団法人地域デザイン経営支援協会
	216	事業デザイン発表会	2	島集合授業	2024/1/21(日)	15:00-17:00	小栗有子 村上電雄ほか	鹿児島大学法文学部 一般社団法人地域デザイン経営支援協会
実践演習(個人演習)	217	キャップストーンプロジェクト・オリエンテーション	1	島集合授業 (※216と同日)	2024/1/21(日)	17:00-18:00	小栗有子 村上電雄ほか	鹿児島大学法文学部 一般社団法人地域デザイン経営支援協会
	218	事業デザイン案 準備課題	6	課題提出型授業	1/21-3/1		村上電雄	一般社団法人地域デザイン経営支援協会
	219	システム思考とレバレッジポイント	2	ライブ授業	2024/2/8(木)	19:00-21:00	村上電雄	一般社団法人地域デザイン経営支援協会
	220	中間発表とフィードバック	2	ライブ授業	2024/2/22(木)	19:00-21:00	小栗有子 村上電雄 農中 至 馬場 武	鹿児島大学法文学部 一般社団法人地域デザイン経営支援協会 鹿児島大学法文学部 鹿児島大学法文学部
	221	最終成果発表会	4	ライブ授業	2024/3/2(土)	14:00-18:00	小栗有子 村上電雄ほか	鹿児島大学法文学部 一般社団法人地域デザイン経営支援協会
	222	振り返りとビジョンの共有	3	島集合授業	2024/3/9(土)	15:00-18:00	小栗有子 村上電雄ほか	鹿児島大学法文学部 一般社団法人地域デザイン経営支援協会
産官民金の実践知(選択必修)	301	これからの地方経営とダイバーシティ、エクイティ&インクルージョン(DE&I)	1.5	動画視聴	10/15-12/31		印南百合子	くうてらす代表 株式会社南九州ファミリーマート取締役 瀬戸内町政策顧問 龍郷町男女共同参画アドバイザー
	302	地域づくりとNPO	1.5	動画視聴	10/15-12/31		酒井 佑輔	鹿児島大学法文学部
	303	奄美群島の振興と観光戦略	1.5	動画視聴	10/15-12/31		小池利佳	株式会社奄美群島環境文化総合研究所 奄美群島振興開発審議会委員
	304	奄美群島振興開発基金と創業支援	1.5	動画視聴	10/15-12/31		本田勝規	奄美群島振興開発基金理事長
	305	小規模事業者・中小企業による地域課題解決と振興	1.5	動画視聴	10/15-12/31		中村安久	オフィス青音株式会社 元・鹿児島銀行大島支店長

3. 授業スケジュール

10月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31
	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火
①「動画視聴型」授業															301-305																
②「課題提出型」授業															202, 203, 204, 205																
③「ライブ」授業																											206				
④「島集合」授業															200, 201 島集合/開講式																
11月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	
	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	
①「動画視聴型」授業																															
②「課題提出型」授業																															
③「ライブ」授業																															
④「島集合」授業																															
①「動画視聴型」授業																															
②「課題提出型」授業																															
③「ライブ」授業																															
④「島集合」授業																															
12月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31
	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日
①「動画視聴型」授業																															
②「課題提出型」授業																															
③「ライブ」授業																															
④「島集合」授業																															
①「動画視聴型」授業																															
②「課題提出型」授業																															
③「ライブ」授業																															
④「島集合」授業																															
1月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31
	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水
②「課題提出型」授業																															
③「ライブ」授業																															
④「島集合」授業																															
②「課題提出型」授業																															
③「ライブ」授業																															
④「島集合」授業																															
2月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29		
	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木		
②「課題提出型」授業																															
③「ライブ」授業																															
④「島集合」授業																															
②「課題提出型」授業																															
③「ライブ」授業																															
④「島集合」授業																															
3月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	
	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	
②「課題提出型」授業																															
③「ライブ」授業																															
④「島集合」授業																															
②「課題提出型」授業																															
③「ライブ」授業																															
④「島集合」授業																															

奄美〈環境文化〉教育・実装プログラム

科目群1：実装の基礎理論					
科目名	オリエンテーション	科目番号	200	時間数	1 時間
担当講師	小栗有子・村上竜雄				
所属・職名	鹿児島大学法文学部・准教授 一般社団法人地域デザイン経営支援協会				
目的・内容	奄美〈環境文化〉教育プログラム入門編（基幹プログラム）の学びと実装プログラムの学びの共通点と違いについて確認し、両プログラムのつなぎ方や相乗効果の高め方について理解することを目的とします。講義では、実装プログラムのカリキュラム構成やその特徴についても解説しますので、受講にあたっての不安を払拭し、計画的に受講できるための準備を整える時間にしましょう。				
受講方法	<input checked="" type="checkbox"/> 島集合授業 各島(与論島・沖永良部島・徳之島・奄美大島・喜界島)の指定された会場に参集し、講師と他の島をZOOM アプリでつなぐ、リアルタイム同時配信・参加型の授業です。オンライン機材のセッティング等については受講生に協力頂きます。 (ZOOM のID は、『eden』のお知らせ機能を通じて、通知します)				
事前に読んでおく授業の理解の手助けになる図書	特になし				
自己紹介	201と202を参照してください。				
受講生へ一言	201と202を参照してください。				

奄美〈環境文化〉教育・実装プログラム

科目群1：実装の基礎理論					
科目名	デザイン思考入門	科目番号	201	時間数	2時間
担当講師	村上竜雄				
所属・職名	一般社団法人地域デザイン経営支援協会				
目的・内容	デザイン思考は、イノベーションを創出するための新たなアプローチを提供するものとして、学術のみならず、ビジネス領域から教育関係者まで広く関心を集め、多くの国と地域で実践されています。この科目では、短時間で人間中心デザイン（Human-Centered Design）のプロセスを体験し、「学知」を中心とした学びから、より主体的な「実践」の学びへとマインドセットを切り換えることを目的とします。				
受講方法	<input checked="" type="checkbox"/> 島集合授業 各島(与論島・沖永良部島・徳之島・奄美大島・喜界島)の指定された会場に参集し、講師と他の島をZOOM アプリでつなぐ、リアルタイム同時配信・参加型の授業です。オンライン機材のセッティング等については受講生に協力頂きます。 (ZOOM のID は、『eden』のお知らせ機能を通じて、通知します)				
事前に読んでおく授業の理解の手助けになる図書	○デイヴィッド・ケリー、トム・ケリー『クリエイティブ・マインドセット』日経BP、2014年 ○ドナルド・A・ノーマン『増補・改訂版 誰のためのデザイン？ 認知科学者のデザイン原論』新曜社、2015年 ○ティム・ブラウン『デザイン思考が世界を変える〔アップデート版〕：イノベーションを導く新しい考え方』早川書房、2019年 他				
自己紹介	専門は、人間中心デザイン思考、内発的発展論、社会教育学です。これまで実務家として、システムエンジニア、グラフィックデザイナー、クリエイティブディレクターとして大手企業の案件に携わってきました。1998年に創業したデザインファームを2018年に事業承継。現在は中小企業庁認定経営革新等支援機関として、主にブランディングおよび人材育成の領域にて経営支援を行っています。家族で暮らす与論島では、令和2年度与論町海洋教育グランドデザイン策定支援、および、第6次与論町総合振興計画策定まちづくり委員ほか、奄美群島南三島経済新聞編集長として地域の皆さまと関わらせていただいております。また、社会人大学院生として東京工業大学 環境・社会理工学院にて研究を続けており、他、東京都立産業技術大学院大学 スタートアップ・アクセラレーター研究所、東京都中小企業診断士協会経営デザイン研究会、ドラッカー学会、日本M&Aアドバイザー協会 等に所属しています。				
受講生へ一言	社会人としての限られた時間を、この奄美〈環境文化〉教育プログラムに学び、地域の課題を創造的に解決しようと志す皆さまに、まずは敬意を表します。それぞれが地域の専門家である皆さんに、私が「教えられる」ことはありません。豊かなシマづくりに向け、ともに学び合うことで、奄美群島全域における多世代、異分野のネットワークが、実践を通じて広がることを楽しみにしています。				

奄美〈環境文化〉教育・実装プログラム

科目群1: 実装の基礎理論					
科目名	奄美の環境文化と内発的発展の可能性	科目番号	202	時間数	1 時間
担当講師	小栗有子				
所属・職名	鹿児島大学法文学部・准教授				
目的・内容	<p>講義の目的は、内発的発展論という考え方を紹介することを通して、各自が発見した奄美の〈環境文化〉の価値を实际生活や仕事と結びつけて行動していくこと（社会実装を目指すこと）の意味について、俯瞰*して考える機会とそのための方法を提示することです。各自の行動の意味を俯瞰することは、個人の行為と社会の関係を考えることでもあります。講義では、内発的発展論が基本に置く考え方を確認しながら、奄美の〈環境文化〉に根ざした一人ひとりの行動（実践）が、奄美群島の未来づくりといかに結びついていくかについて論じます。</p> <p>*高いところから広い範囲を見下し眺めること</p>				
受講方法	<p><input checked="" type="checkbox"/> 動画視聴 e ラーニング学習管理システム(LMS)『eden』から視聴してください。 ※視聴期間は、スケジュール表を確認してください。</p>				
事前に読んでおく授業の理解の手助けになる図書	<p>○若原幸範「内発的発展論の現実化に向けて」社会教育研究, 25, 2007, 39-49 https://eprints.lib.hokudai.ac.jp/dspace/handle/2115/20398 ○除本理史・佐無田光『きみのまちに未来はあるか?』岩波ジュニア新書, 2020 ○枝廣淳子『地元経済を創りなおす』岩波新書, 2018 ○小田切徳美編『新しい地域をつくる』岩波書店, 2022</p>				
自己紹介	<p>専門は、社会教育学と環境教育学です。学校よりも社会、子どもよりも大人の学びに関心を持ってきました。奄美との出会いは 2010 年からで、環境問題をテーマに奄美の方との共同研究や学習機会の創出に従事してきました。活動の一端は、次に紹介されています。 https://kagoshima-kankyogaku.com/ 近年は、社会環境だけでなく、自然環境との関わりが人の成長（自己形成）に与える作用を読み解くための研究をしています。</p>				
受講生へ一言	<p>2021年度に立ち上がった奄美〈環境文化〉教育プログラムが、このたび新たに「実装プログラム」として、皆さんの活動を支えるより実践的な学びの機会を提供できることをとても嬉しく思っております。この一連の教育プログラムは、皆さんと一緒に成長し続けるものであることを実感しています。学びに終わりはなく、受講生の皆さんや講師の方々と共に新しい冒険に出られることを楽しみにしています。習うより慣れろ！が、今回のプログラムの特徴でしょう。失敗をたくさん重ねながら「やる力」を高めていきましょう。</p>				

奄美〈環境文化〉教育・実装プログラム

科目群1：実装の基礎理論					
科目名	南西諸島域イノベーション実践論	科目番号	203	時間数	1時間
担当講師	藤枝 繁				
所属・職名	鹿児島大学 南九州・南西諸島域イノベーションセンター長				
目的・内容	<p>目的：地域課題解決に向けた大学の知の活用方法について紹介します。</p> <p>内容：</p> <ul style="list-style-type: none"> ・スタートアップとは何か ・知を創造する大学が行うディープテックスタートアップの紹介 ・地域課題を解決するために必要なこと ・地域課題解決に向けた大学の活用 				
受講方法	<p><input checked="" type="checkbox"/> 動画視聴</p> <p>e ラーニング学習管理システム(LMS)『eden』から視聴してください。</p> <p>※視聴期間は、スケジュール表を確認してください。</p>				
事前に読んでおく 授業の理解の手助け になる図書	起業の科学 スタートアップサイエンス／田所 雅之（著）日経BP				
自己紹介	<p>1991年3月鹿児島大学水産学部水産専攻科修了後，熊本県立水産高等学校教諭，鹿児島大学水産学部助手，附属練習船かごしま丸・敬天丸航海士（併任）を経て，2010年同大学教授。1997年2月，日本海でのロシアタンカー「ナホトカ号」重油流出事故の災害ボランティアに学生と共に参加して以来，海岸漂着ごみを中心にした海洋ごみに関する研究を開始。同時に市民による国際的な海岸ごみ調査清掃活動である国際海岸クリーンアップ（一般社団法人JEAN主催）の活動を鹿児島でも展開しようと，1999年，県内有志でクリーンアップかごしま事務局を設立。研究活動とNGO活動の両輪で海ごみ問題に取り組んできたが，2015年3月末をもって鹿児島大学水産学部を退職し，民間企業の営業マンに転身。2018年，鹿児島大学に産学・地域共創センターが設立されたことから，連携推進部門／特任教授として着任。2022年4月より，鹿児島大学南九州・南西諸島域イノベーションセンター長就任。現在，漂着物学会／事務局長（発起人），一般社団法人JEAN／代表理事。</p>				
受講生へ一言	<p>アイデアの事業化には，コアとなるアイデア・技術・技能やシーズ（特許，意匠）以外にも，チーム作りとプランニングが大切です。地域課題の解決には，課題解決の方法を提案するのではなく，自らその課題を解決するためにはどのように行動しなければならいかを考え，実践し，それを継続することが重要です。</p>				

奄美〈環境文化〉教育・実装プログラム

科目群1：実装の基礎理論					
科目名	地域づくりと探究の理論	科目番号	204	時間数	1 時間
担当講師	村上竜雄				
所属・職名	一般社団法人地域デザイン経営支援協会				
目的・内容	<p>奄美〈環境文化〉教育・実装プログラムのカリキュラム（教育課程）は、基幹プログラムで学んだ奄美の環境文化を土壌とし、生活や地域の課題を創造的に解決するスキルを身につけることを目的としています。</p> <p>「探究的な学び」は、本プログラムの理論的基盤となるものであり、昨今、中学・高校などの公教育においても導入が図られています。本科目では、探究とは「そもそも何なのか？」「どうして必要とされているのか？」「どう活用できるのか？」という視点から、ジョン・デューイの探究の理論をベースにご紹介します。</p>				
受講方法	<p><input checked="" type="checkbox"/> 動画視聴</p> <p>e ラーニング学習管理システム(LMS)『eden』から視聴してください。</p> <p>※視聴期間は、スケジュール表を確認してください。</p>				
事前に読んでおく授業の理解の手助けになる図書	<p>○上野正道『ジョン・デューイ-民主主義と教育の哲学』岩波新書、2022年</p> <p>○伊藤邦武『プラグマティズム入門』ちくま新書、2016年</p> <p>○鶴見俊輔『人類の知的遺産〈60〉デューイ』講談社、1984年</p>				
自己紹介	201を参照してください。				
受講生へ一言	201を参照してください。				

奄美〈環境文化〉教育・実装プログラム

科目群2：地域課題解決演習(グループ演習)					
科目	詳細は次頁	科目番号	205～216	時間数	35 時間
担当講師	村上竜雄				
所属・職名	一般社団法人地域デザイン経営支援協会				
目的・内容	<p>社会環境が大きく変化し、不確実性の高い時代背景において、過去の成功事例や慣習を踏襲するアプローチで成果をあげることは困難です。各地域の環境文化に適応したイノベーションを起こすためには、事業の対象となる「人」に焦点をあて、観察・共感し、顕在化されていない本質的なニーズを把握することが重要です。限られたリソースと制約の中、創造的な解決策を立案していくスキルを身につけるため、本科目群では、デザイン思考を活用し、現実の地域の課題にグループワークで協働しながら取り組むことで、理論と実践の両面から学びを深めていきます。</p>				
受講方法	次頁を参照してください				
事前に読んでおく授業の理解の手助けになる図書	201を参照してください。				
自己紹介	201を参照してください。				
受講生へ一言	201を参照してください。				

奄美〈環境文化〉教育・実装プログラム

科目群2:地域課題解決演習(グループ演習) 授業計画

科目名	内容	受講方法	科目番号	時間数
地域課題オリエンテーション	各自治体担当者からのオリエンテーション	動画視聴	205	1
グループワーク①	地域課題の観察・文献調査を計画する	ライブ授業	206	1.5
デザインリサーチ課題① (観察・文献調査)	グループワークで立案した計画を実行し、課題レポートをまとめる	課題提出型授業	207	4
グループワーク②	デザインリサーチ課題①の成果を共有し、フィードバックを得ることでリフレクションを行い、対象への理解から共感へと深度を上げたデザインリサーチ計画を立案する	ライブ授業	208	2
デザインリサーチ課題② (共感体験)	グループワークで立案した計画を実行し、課題レポートをまとめる	課題提出型授業	209	6
インサイトから 問いを立てる	デザインリサーチ課題②の成果を共有し、得られたフィードバックとリフレクションから、対象への共感をインサイト・ステートメントとして言語化する。その上で、課題解決へのHMWクエスチョンを設定する	島集合授業	210	3
アイデアの創出	HMWクエスチョンを解決するためのアイデアを創出し、事業デザイン計画をまとめる	課題提出型授業	211	5
3つのレンズ	アイデアを検証するための3つのレンズについて学び、重要な仮説を明らかにする	動画視聴	212	1
グループワーク③ (プロトタイピング計画)	プロトタイピングを計画する	ライブ授業	213	1.5
プロトタイピング実践課題	立案したプロトタイピング計画を実行し、そこで得た学びから事業デザイン計画をリファインします	課題提出型授業	214	6
ストーリーテリング	ストーリーテリングについて学び、事業デザイン発表会の準備を行う	ライブ授業	215	2
事業デザイン発表会	各自治体担当者をオーディエンスに事業デザイン(グループワーク)の発表を行う	島集合授業	216	2

教授方法:・課題解決型学習(PBL: Project Based Learning)を採用する
 ・授業内での講義は15分以内とし、実践と対話により理解を深める
 ・知識学習ではなく「Learning by doing」を授業内でも実践することを目指す

参照ホームページ:

- ・特許庁デザイン経営プロジェクト https://www.jpo.go.jp/introduction/soshiki/design_keiei/index.html
- ・IDEO U Design Thinking <https://www.ideo.com/pages/design-thinking>

奄美〈環境文化〉教育・実装プログラム

科目群3：実践演習(個人演習)					
科目	詳細は次頁	科目 番号	217～ 222	時間 数	18 時間
担当講師	村上竜雄				
所属・職名	一般社団法人地域デザイン経営支援協会				
目的・内容	<p>奄美〈環境文化〉教育・実装プログラムの総仕上げとして、汎用基礎力科目群（グループワーク）で学んだスキル、およびマインドセットを活用し、それぞれの地域が抱える課題を、創造的に解決する事業デザイン立案に取り組みます。現実の社会は複雑に絡み合っており、理論どおりに動くとは限りません。相互に関連する要素がつながり、何らかの共有された目的に向かって組織化された総体を「システム」と呼びます。この科目群では、システム思考のアプローチを取り入れ、動的な社会システムに変革を起こすためのレバレッジポイントを見出す方法を学び、理論と実践を行き来することで、社会実装の実行可能性を高める手法を習得し、最終成果として事業デザインを発表することで、プログラムの総まとめを行います。</p>				
受講方法	次頁を参照してください				
事前に読んでおく 授業の理解の手助け になる図書	201を参照してください。				
自己紹介	201を参照してください。				
受講生へ一言	201を参照してください。				

奄美〈環境文化〉教育・実装プログラム

科目群3:実践演習(個人演習) 授業計画

科目名	内容	受講方法	科目番号	時間数
キャップストーンプロジェクト オリエンテーション	プロジェクトへの取り組み方法についてオリエンテーション	島集合授業	217	1
事業デザイン案 準備課題	地域課題を創造的に解決する事業デザイン案を構想	課題提出型授業	218	6
システム思考とレバレッジポイント	システム思考の手法を用いて、レバレッジポイントを見出す方法を学ぶ	ライブ授業	219	2
中間発表とフィードバック	中間発表として、グループごとに各自が構想した事業デザイン案を共有し、相互にフィードバックを行うことで、最終成果発表へ向けて事業デザインをリファインする	ライブ授業	220	2
最終成果発表会	プログラムの総まとめとして、最終成果として事業デザインを発表する	ライブ授業	221	4
振り返りとビジョンの共有	会場ごとの振り返り～修了式	島集合授業	222	3

奄美〈環境文化〉教育・実装プログラム

科目群4：産官民金の実践知(選択必修)					
科目名	これからの地方経営とダイバーシティ、 エクイティ&インクルージョン(DE&I)	科目 番号	301	時間 数	1.5 時間
担当講師	印南百合子				
所属・職名	ぐうてらす代表 株式会社南九州ファミリーマート取締役 瀬戸内町政策顧問 龍郷町男女共同参画アドバイザー・たつごうみらい会議委員				
目的・内容	<p>目的：地域経営、地域づくりにおける「人権の主流化」の必要性について、社会情勢の変化やSDGsなどを通じて理解を深め、奄美における地域課題解決型企業の可能性を探る。</p> <p>内容：第1部 講義 ①地域経営とは、②社会動向、③SDGs、 ④人権とは、⑤DE&I、⑥協働の意義 第2部 クロストーク</p>				
受講方法	<input checked="" type="checkbox"/> 動画視聴 e ラーニング学習管理システム(LMS)『eden』から視聴してください。 ※視聴期間は、スケジュール表を確認してください。				
事前に読んでおく 授業の理解の手助け になる図書	<p>○アジア・太平洋人権情報センター 編『人権ってなんだろう』解放出版社、2018年</p> <p>○鹿児島県人権教育・啓発基本計画(2次改定) https://www.pref.kagoshima.jp/ab16/kurashi-kankyo/jinken/jinkenkeihatu/kihonkeikaku/kihonkeikaku_2.html (株)南九州ファミリーマートウェルビーイング行動計画 https://www.mfamily.co.jp/outline/action-plan/</p>				
自己紹介	<p>これまでの県庁(大島支庁や瀬戸内事務所でも勤務)での行政経験や現在も継続している地域活動での経験などを活かして、奄美大島を中心に県内の市町村の行政運営や地域づくりに係わらせていただくとともに、企業において社員及び地域のウェルビーイングの推進に取り組んでいます。</p>				
受講生へ一言	<p>地域経営・地域づくりの究極の目標や企業の社会的使命は、市民の安心・安全な暮らしであり、その前提として一人ひとりの人権の尊重が不可欠です。また、SDGsは、「誰一人取り残さない」を理念とし、17の目標全てに人権の確立とジェンダー平等の実現が通底しています。しかし、人権の認識が十分でないことが、多くの地域課題の背景にあるとともに、多様な主体との協働を含めた的確な対応を阻害しています。</p> <p>人権あるいはDE&Iの視点から地域課題を捉え、奄美での地域解決型の社会的企業の必要性と可能性について一緒に考えてみませんか。</p>				

奄美〈環境文化〉教育・実装プログラム

科目群4：産官民金の実践知(選択必修)					
科目名	地域づくりとNPO	科目番号	302	時間数	1.5 時間
担当講師	酒井佑輔				
所属・職名	鹿児島大学法文学部 准教授				
目的・内容	<p>目的：地域づくりにおいてはNPO等の市民組織が重要視されています。また、産学官民による連携や協働の重要性も近年言われています。そこで本講義では広義のNPOの組織概要やその特徴、NPO法人制度の歴史的変遷等について学ぶことで、受講生の皆さんがNPO法人設立やNPOとの連携といった行動を起こしていく際の前提知識の獲得を目指します。</p> <p>内容： 第1部 インTRODクシヨN「地域づくりにおけるNPO」 第2部 クロストク「地域づくりにおけるNPOの可能性」</p>				
受講方法	<input checked="" type="checkbox"/> 動画視聴 e ラーニング学習管理システム(LMS)『eden』から視聴してください。 ※視聴期間は、スケジュール表を確認してください。				
事前に読んでおくと授業の理解の手助けになる図書	佐藤一子編『NPOの教育力 生涯学習と市民的公共性』東京大学出版会、2004。 早瀬昇『「参加の力」が創る共生社会~市民の共感・主体性をどう醸成するか~』ミネルヴァ書房、2018。				
自己紹介	メキシコ日産、NHK多言語展開部（スペイン語・ポルトガル語）、国際アグロフォレストリー研究センター（ブラジル）インターン等を経て2012年に鹿児島大学生涯学習教育研究センター（現：高等教育研究開発センター生涯学習部門）に着任し、2016年より法文学部に在籍しています。鹿児島ではNPOかごしまルネッサンス*の理事を10年程度つとめていました。 *文部科学省科学技術振興調整費「地域再生人材創出拠点の形成」（平成18年~22年度）により鹿児島大学で実施した人材育成プログラムの修了生によって設立されたNPO法人				
受講生へ一言	みなさんが実際に地域でことを起こすための知識やノウハウ、NPOとの連携方法等についてできるだけ具体的にお伝えできるよう頑張ります。よろしくお願ひします。				

奄美〈環境文化〉教育・実装プログラム

科目群4：産官民金の実践知(選択必修)					
科目名	奄美群島の振興と観光戦略	科目番号	303	時間数	1.5 時間
担当講師	小池利佳				
所属・職名	株式会社奄美群島環境文化総合研究所 代表取締役 奄美群島振興開発審議会委員、 武蔵野美術大学通信教育課程非常勤講師				
目的・内容	<p>2021年7月、奄美・沖縄は世界自然遺産に登録されました。奄美群島では世界自然遺産登録を目指すなかで、自然環境の保護保全やエコツーリズムを推進してきましたが、奄美群島の振興では、多様な視点から「観光」をとらえていく必要があります。この講義は、観光を地域振興のための手法として位置づけ、皆さんと奄美群島の振興を考えていきたいと思えます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○国の観光振興の方針と奄美群島 ○観光の背後にある観光政策と観光推進団体 ○奄美群島の観光振興を考えるための要点 ○奄美群島で目指す観光とは？ 				
受講方法	<input checked="" type="checkbox"/> 動画視聴 e ラーニング学習管理システム(LMS)『eden』から視聴してください。 ※視聴期間は、スケジュール表を確認してください。				
事前に読んでおくと授業の理解の手助けになる図書	<ul style="list-style-type: none"> ・フィールドから読み解く観光文化学、西川克之・岡本亮輔・奈良雅史 編著、ミネルヴァ書房、2019年 https://www.minervashobo.co.jp/book/b449982.html ・まちづくりと景観、田村明 著、岩波新書、2005年 https://www.iwanami.co.jp/book/b268804.html 				
自己紹介	<p>専門は条件不利地域の観光振興と地域振興ですが、土木遺産や産業遺産などの旧くて堅いモノや歴史的なまちなみ、各地で受け継がれてきた集落の景観と地域資源を活用した観光のしくみづくりに興味があります。</p> <p>2008年から奄美群島の観光振興や地域振興の仕事に携わり、2015年に奄美市笠利町に(株)奄美群島環境文化総合研究所を設立し、奄美群島の観光振興や地域振興の調査と分析、観光の計画づくり、観光振興の具体的な取組をより深く手掛けています。</p>				
受講生へ一言	<p>観光は誰でも楽しむことができる時間の過ごし方です。距離の遠近や時間の長短は別に、色々な場所を訪れたことを思い出してみてください。各人が良かったと感じる観光地や観光とともに、不満を抱いた観光地や観光について、ご自身の経験をもとに冷静に比較や分析をしながら奄美群島という1つの地域の観光について一緒に考えていきたいと思えます。</p>				

奄美〈環境文化〉教育・実装プログラム

科目群4：産官民金の実践知(選択必修)					
科目名	奄美群島振興開発基金と創業支援	科目番号	304	時間数	1.5 時間
担当講師	本田勝規				
所属・職名	奄美群島振興開発基金理事長				
目的・内容	<p>奄美群島振興開発基金は、奄美群島の振興のための政策金融を行っています。</p> <p>県行政や当基金での経験から、奄美群島の振興に向けた取り組みと課題について考えるとともに、本プログラムでの学びを創業につなげていくためのお手伝いができればと思っています。</p> <p>講義では、次の項目についてお話しをさせていただきます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 奄美のポテンシャルと課題 ○ 奄美群島振興開発基金の役割と取り組み ○ 金融の立場からみた創業のポイント ○ 地域課題解決のために創業した先輩事業者の体験談 				
受講方法	<p><input checked="" type="checkbox"/> 動画視聴</p> <p>e ラーニング学習管理システム(LMS)『eden』から視聴してください。</p> <p>※視聴期間は、スケジュール表を確認してください。</p>				
事前に読んでおく 授業の理解の手助け になる図書	<p>奄美群島振興開発基金ホームページ</p> <p>奄美群島振興開発基金 奄美群島における産業の振興開発を促進 (amami.go.jp)</p>				
自己紹介	<p>独立行政法人奄美群島振興開発基金の理事長の本田勝規と申します。</p> <p>当基金は、奄美群島振興開発特別措置法に基づき設置された国の独立行政法人です。事業者の方々が民間金融機関から融資を受ける際の債務の保証を行ったり、直接融資を行ったりしています。</p> <p>私自身は、大学卒業後鹿児島県庁で働いておりました。ちょうど10年前は離島振興課長として行政の立場から奄美振興に携わっておりました。農政部長を最後に県庁を退職後、当基金の理事長を務めております。</p>				
受講生へ一言	<p>実装プログラムの受講者は、基幹プログラムの修了者が対象と聞いています。</p> <p>まずは、皆様の学びに対する熱意に敬意を表させていただきたいと思います。</p> <p>奄美は、多くの発展のポテンシャルがあると考えています。一方で、様々な課題もありますが、これらのポテンシャルを生かし、地域課題を解決していくには、民間の力や大学等高等教育機関の力が重要です。</p> <p>産(民)・学・官・金連携の力で奄美の振興にチャレンジしましょう。</p>				

奄美〈環境文化〉教育・実装プログラム

科目群4：産官民金の実践知(選択必修)					
科目名	小規模事業者・中小企業による 地域課題解決と振興	科目 番号	305	時間 数	1.5 時間
担当講師	中村安久				
所属・職名	オフィス青音株式会社 代表取締役社長（顧問企業43社） 元(株)鹿児島銀行 串木野支店長 加世田支店長 大島支店長 県庁支店長 元町田酒造(株) 代表取締役社長 元龍郷町「たつごうみらい会議」座長				
目的・内容	本講義の目的は、 ①多様化・深刻化する地域課題の把握と理解を進める、 ②地域の小規模事業者や中小企業が、どのような形で地域課題を解決し、持続的な地域振興に結びつけているのかを奄美群島および全国の事例を通して学ぶことにあります。 本講義の内容は、①地域の課題、②小規模事業者や中小企業の経営課題、③地域振興活動取組の類型、④地域課題解決に取り組む・取り組まないの選択と動機、⑤事業経営による地域課題の解決事例、⑥事業経営以外の手段による地域課題の解決事例などを網羅します。				
受講方法	<input checked="" type="checkbox"/> 動画視聴 e ラーニング学習管理システム(LMS)『eden』から視聴してください。 ※視聴期間は、スケジュール表を確認してください。				
事前に読んでおく と授業の理解の手 助けになる図書	『中小企業白書 小規模企業白書 2023年版 下 地域問題を解決し、持続的な発展を遂げる小規模事業者』（中小企業庁/日経印刷）				
自己紹介	現在、私は経営コンサルティング会社を運営しています。会社設立から3年が経過し、奄美群島の企業を中心に43社と顧問契約を、30を超える企業・事業者と業務提携契約を締結しています。これらの契約先の業種や規模、経営方針等は非常に多岐にわたっているため毎日良い刺激を受けています。 また、NPO法人あまみむすび(第1次産業の振興)の理事、NPO法人空き家ラボ(空き家の利活用促進)のビジネスパートナー会員、NPO法人ゆずり葉の郷(青少年健全育成)の会員として多分野の社会事業活動にも参画。 6年前からは財務省九州財務局鹿児島財務事務所の「かごしま活性化フォーラム」のコアメンバーとしても活動しています。				
受講生へ一言	受講生の皆さんは、既に何らかの形で地域の振興に関わっておられるのではないのでしょうか。あるいは、これから自分の事業を展開する中で地域が持つ特性や潜在力を活かし、地域の魅力を引き出すことで地域社会の課題を持続的に解決していこうという気持ちを持っておられるかもしれませんね。 本講義が、そういう社会的な志を持っておられる方への情報提供になれば幸いです。				